

育成を目指す資質・能力

単元目標：ALTに学校生活を楽しんでもらうために、先生にインタビューした内容をもとに先生紹介カードを作成し、それをALTに見せながら、紹介することができる。

ICT活用のポイント

児童が、インタビュー内容をもとに作成した先生紹介カードを見せながら紹介する様子を互いに撮影し合い、アドバイスし合ったり、自分の映像を見返したりすることで、「話すこと（発表）」の技能や表現力を高められるようにする。

1. 単元の課題達成モデルとめあてを確認する。

教師が他の先生を紹介している様子を見て、単元の課題達成に向けたポイントを確認し、めあてをつかむ。【(ALT)に先生のことが伝わるスピーチをする】

2. ペアでスピーチの練習をする。

用意した先生紹介カードをペアに見せながら、繰り返しスピーチの練習をする。その後、めあての達成に近づいている児童の発表を全体で確認する。

3. ペアでスピーチを撮影し合う。

(1)相手のスピーチの様子を撮影する→(2)映像を互いに送り合う→(3)相手のスピーチに対して本時のスピーチのポイントに沿ったアドバイスをする→(4)自分の映像を見て課題を確認する→(1)に戻り繰り返す。

4. 本時の振り返りをする。

めあてに沿って自分自身の成果や課題を振り返る。

事例の概要

単元の1時間目において、ALTが本校に赴任して1年目であり、他の先生方のことを知る機会が少なく困っているという状況から、単元の課題として、「ALTに、学校での生活を楽しんでもらうために、先生たちにインタビューした内容をまとめ、紹介しよう」を設定した。児童はまず他者紹介に必要な表現を学び、その後休み時間等を使って自分が担当する先生に英語でインタビューし、先生紹介カードにまとめた。そして、単元の課題を達成する段階として、左記の授業が行われた。

事例におけるICT活用場面

- ① 事前にインタビューして、ICT端末上にまとめた先生紹介カードを見せ合いながらスピーチの練習をする。
- ② ICT端末のカメラ機能を使って、互いのスピーチの様子を撮影し合う。
- ③ 学習支援ソフトを通じて、互いの映像を送り合う。
- ④ ICT端末上で自分や相手の映像を見返し、改善点を確認し、納得のいくスピーチになるまで繰り返し挑戦する。
- ⑤ ICT端末を通じて、教師に最も納得のいくスピーチの映像を送り、授業後、教師からのフィードバックを受け取る。

【外国語・小5・Unit 5 「This is my sister.」 ②

【事例におけるICT活用の場面①】

先生紹介カードを見せ合いながらスピーチの練習をする。



☆ICT活用ポイント

ICT端末上で先生紹介カードを作る際には、ICT端末を通じてピクチャーカードを配布し使えるようにすることで、文字を介さずインタビュー内容を記録したり、表現したりできるようにした。

☆ICT活用のメリット

文字を介さずピクチャーカードだけをヒントに英語を表現する技能が身に付いた。また、写真やピクチャーカードを貼るだけなので、全児童が意欲的に取り組んでいた。

【事例におけるICT活用の場面②③】

互いのスピーチを撮影し、映像を送り、アドバイスをし合う。



☆ICT活用ポイント

撮影者をALTに見立て、相手意識をもって取り組めるようにした。周囲の音が過度に入り込まないように、マイクの感度を調節したり、座席を工夫したりした。撮影が目的にならないよう、見合う視点を明確にした。

☆ICT活用のメリット

自分のスピーチの様子を繰り返し確認することで、内容面・態度面の課題を具体的につかむことができた。また、何度も挑戦することで、課題の改善に向け思考し、表現を高め、その成果を実感することができていた。

【事例におけるICT活用の場面④⑤】

映像を教師に送り、授業後、教師からフィードバックを受け取る。



☆ICT活用ポイント

学習支援ソフトを通じて提出されたスピーチ映像に対し、ALTから直接フィードバックをもらうことで、児童が学習の成果や達成感を実感できるようにした。特によくできているものは全体で共有した。

☆ICT活用のメリット

教師からのフィードバックを確認し、自分自身の映像を見返すことで、成果や課題を明確にし、単元の学びをふりかえったり、次の学習につなげたりすることができていた。